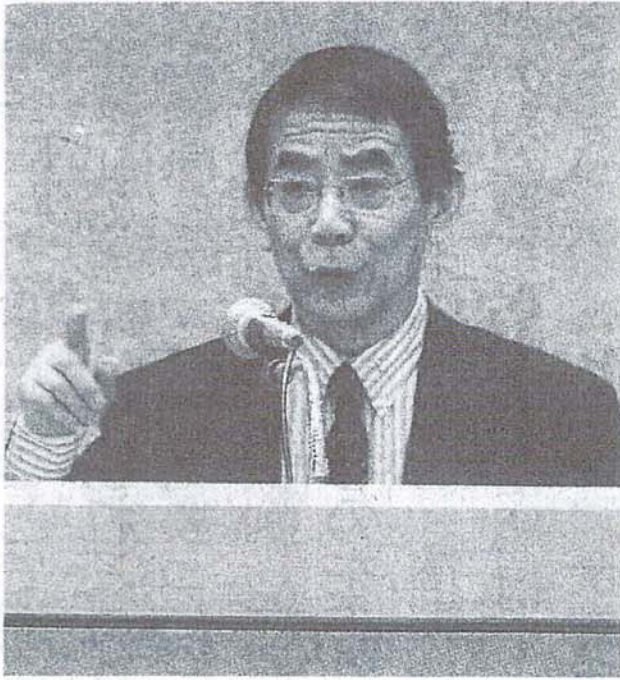


「友を嘆かせてはならない」

渡辺利夫氏が講演



京都「正論」懇話会

京都「正論」懇話会の第39回講演会が20日、京都市下京区のリーガロイヤルホテル京都で開かれ、拓殖大学の渡辺利夫総長・学長が「日米中新時代―極東地政学の中国の日本」をテーマに講演した。写真（恵守乾撮影）。

渡辺氏は、中国国内でのナショナリズムの高まりを背景に、中国

が外海での動きを活発化させていると指摘。英国などがチェコスロバキアに侵攻したナチスドイツの主張を容認したミュンヘン会談を引き合いに、「領土問題について判断を誤ると中国の外洋への進出を抑えることができなくなる」と主張した。

「民主党政権下では対米を含め外交が不在だった」とし、領土問題の悪化は日本外交の威信が失われたことが理由と分析。知日派の米関係者が日米同盟が危機にあると指摘した報告書を紹介しながら、「友を嘆かせてはならない」と外交立て直しの重要性を訴えた。